

# 学校保健委員会報告

寒河江市立南部小学校

7月17日(木)、学校医・学校薬剤師の先生方、市教育委員会、地域・PTA・母親委員会の皆様、学校関係、あわせて20名のご出席をいただき、今年度第1回学校保健委員会が開かれました。話し合われたことをお知らせいたします。



## (1) 今年度の役員選出について

委員長・・・田村内科校医

副委員長・・・五十嵐PTA会長

## (2) 定期健康診断の結果から

### 発育状況

- ・学年・男女別に県平均との比較でみていくと、県平均をさらに上回る学年、反対に1cm・1kg以上下回る学年とバラつきはあるが1年間の伸びでみると問題はない。
- ・男女共に、昨年より肥満傾向児・やせ傾向児が減り、標準の子が増えている。特に、男子では昨年、標準70%という数値から今年は78%になっている。軽度肥満の子が減ったことが大きい。重度肥満傾向の子については経過をみていく。

### 各検診結果(内科・耳鼻科・眼科・歯科・他)

- ・今年は、耳鼻科疾患(耳—滲出性中耳炎、耳垢 鼻—アレルギー性鼻炎等)の罹患率が高かった。特に、男子が高率であった。
- ・アレルギー性鼻炎は、数的にはもつというが、いびきをかくか、学校で眠くならないか(いい睡眠がとれているか)学校生活に支障がないかを、検診時にひとりひとり問診をしながらチェックし、所見のある子をピックアップしている。
- ・アレルギー性鼻炎の子は、鼻を強く何回もかむことによって刺激になるので、軽くかむようにした方がよい。
- ・秋には、各校でマラソン大会が予定されているが、喘息の発作をおこす子も多い時期である。かえって、6月頃の方が適しているといえる。
- ・アレルギー性結膜炎も30~40%はいる。治療の必要な子をピックアップした。
- ・視力では、心因性視力異常が、「さんさんプラン」が始まった頃に一時少なくなったが、ここ1、2年また増えてきている。本人は、「見えていない」という自覚がないので、視力異常者の中に、心因性視力異常も含まれていることもふまえ、受診勧告をしっかりとってほしい。
- ・日本眼科医会の調査で、プールの塩素が眼の角膜にあまりよくない影響を及ぼすのではないかとわかった。プール時、ゴーグルの使用を勧めてほしい。学校からの強制という形ではなくて、ゴーグルをつけたい人はつけてという形で勧めてはどうか。

また、水道水に含まれている塩素も悪影響がある。プール後、長く(10~15秒も)眼を洗うのは好ましくない。3~4秒でよい。

- ・眼はゴーグルでカバーできるが、耳鼻科ではそうはいかない。

プールの塩素+汗（+小さい子のおしっこ）→1時間プールに入ると、2時間は鼻の繊毛が動かなくなる、働きがなくなる。特に、屋内プールではそうなりやすい。

- ・水泳の上手な人でも溺れるというのは、耳の中に冷たい水が入ることによって“めまい”をおこすためである。

## (2) 今年度の安全・体育・食育・保健指導のなかで話し合われたこと

### 安全指導

- ・校舎の耐震性については、緊急を要するものはない。部分的な補強を優先順位を決めて実施しているところである。(市教委)

### 体育指導

- ・本校はスポ少が盛んだが、運動の二極化が進んでいるとも言われており、友達と関わりながら楽しく運動の日常化が図れるようにしている。

### 食育指導

- ・給食に季節の食材を取り入れてくれて、ありがたい。
- ・将来、子どもたちが親になった時、どういう食事を作ってくれるだろうか。  
食事は、赤・黄・緑・白の4つのお皿がそろうものということを、最低限きっちり教えてほしい。そこをおさえて指導計画をたてていく必要がある。

## (3) 今年度の保健重点活動

- ・「食と生活リズム」アンケート結果・・・別紙
- ・朝ごはんをしっかりとる『健康な生活リズムづくり』を昨年に引き続き、食育の一環として、家庭と協力しながら取り組みを進めていく。
- ・うちの朝ごはんは、ここでは発表できないようだ。子どもは、起きて10分もしないうちに朝ごはんを、食欲もなくやっとな朝ごはんを食べている。
- ・アンケートの“朝ごはんを食べない”理由はなんだろうか？親が食べないからという子もいるのでは・・・
- ・初めて学校保健委員会に参加したが、大変有意義な会である。アンケートは、親の姿をみているようである。2年生、11時すぎに寝るが10名いるが、もつといるのでないか。
- ・子どもの問題でなく、親の問題である。その親を育てた、今60代の自分たちが悪いのではと反省している。
- ・陵南中学校で、南部小の子どもたちは朝ごはんを食べてくると言われる。取り組みの成果だ。
- ・朝ごはんが1品、2品で50%、内容をみると4品でも？である。例えば、目玉焼きだけでなくキャベツとハムを添えるという、ちょっとした工夫で、赤・黄・緑のお皿がそろう。親を教育するより、子どもたちへしっかりと教育する必要がある。

### その他

- ・島地区・・・横断歩道を作れないので、横断旗を設置してもらっている。通学時や道路を横断する際は横断旗を持って渡るよう学校で指導してほしい。
- ・プール水の管理について—“シマカ”の発生、経過報告。子どもたちの健康安全を考えて、1シーズンに1回は水を交換できるような予算の確保をしてほしい。